

## ニュータウンの森を手入れしよう！

上村哲三・中田一真（ごもくやさん）

### 1. はじめに

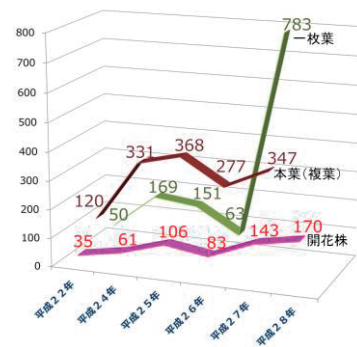
三田市中央公園は北摂三田ウッディタウンの玄関口にある面積約16.3haの公園です。この一帯はニュータウン開発前、昭和40年代まで里山として利用されていました。

ごもくやさんは、中央公園を中心に里山管理・生物多様性の保全に取り組むボランティアグループです。平成22年（2010年）の発足以来、ササユリの保護活動や自動カメラによる動物の生息調査、水辺環境の保全による両生類の保護等に取り組んできました。

### 2. ササユリ生育数の推移

西日本特産のササユリは、種が落ちて花が咲くまで、7～8年もの期間を要します。

中央公園では、森を手入れして環境を整えることにより、着実に発芽数、開花株数が増加しています（右のグラフ参照。平成23年は欠測。平成26年は下草刈りを行わなかったため、正確なカウントができず）。



### 3. 自動カメラによる哺乳類・鳥類の記録

2010年以降、自動カメラによる哺乳類等の記録を開始しました。

現在は、中央公園内計7箇所にスチールカメラ4台、動画用トレイルカメラ3台、公園外の周縁緑地にトレイルカメラ1台を設置して、けもの道や水場、アナグマの巣穴等を観察しています。

2017年1月末現在、哺乳類12種（イヌ、ネコ含む）、鳥類40種を記録しました（表1）。

### 4. 両生類の暮らす水辺環境の保全

中央公園の芝生広場は、ニュータウン開発前、田んぼでした。

森の中や、周辺の水辺には、今でも公園が田んぼだった頃の生き物たちが暮らしています。

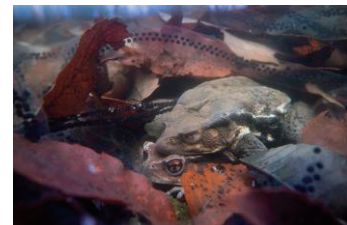
この公園で記録された両生類は8種類（ニホンヒキガエル、ニホンアマガエル、トノサマガエル、ウシガエル、ヌマガエル、モリアオガエル、シュレーゲルアオガエル、カスミサンショウウオ）。水辺の手入れを行い、環境を保全することによって、両生類等の水生生物の生息環境を保持しています。



水辺の環境保全



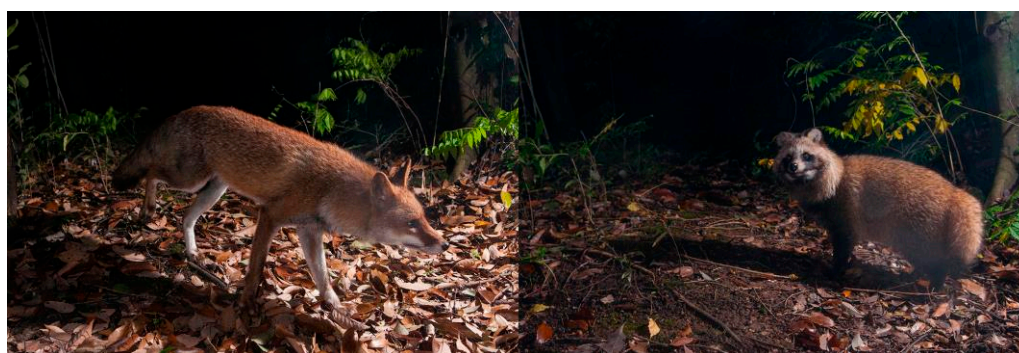
シュレーゲルアオガエル



ニホンヒキガエル

カメラNo	ステールカメラ				トレイルカメラ			
	1	2	3	4	T1	T2	T3	T4
設置場所	けもの道	けもの道	水辺	倒木	巣穴前	巣穴前	巣穴前	けもの道(けやき倉)
設置時期	2010.5-	2013.2-	2013.5-	2014.11-	2015.5-	2015.5-	2015.6-	2016.8-
1 キツネ	○	○				○	○	○
2 タヌキ	○	○	○	○		○	○	○
3 イヌ		○						
4 ネコ	○	○		○	○	○	○	○
5 アライグマ	○	○	○	○	○	○	○	○
6 テン	○	○	○	○	○	○	○	○
7 イタチSP	○	○			○		○	
8 アナグマ	○	○	○	○	○	○	○	
9 ハクビシン	○			○		○	○	
10 ノウサギ		○					○	
11 アカネズミ	○	○	○		○	○	○	○
12 ヒメネズミ		○	○		○			
1 カイツブリ			○					
2 ミソゴイ		○						
3 ゴイサギ	○							
4 ササゴイ	○		○					
5 オンドリ	○				○	○		
6 マガモ			○					
7 カルガモ			○			○		
8 ハイタカ			○					
9 コジュケイ								○
10 キジ	○							○
11 ヤマドリ								○
12 ヤマシギ	○	○	○					
13 キジバト	○	○	○			○	○	
14 アオバト								○
15 カワセミ			○					
16 ビンズイ				○		○	○	
17 ヒヨドリ	○			○	○			○
18 モズ			○					
19 ノゴマ			○					
20 コルリ			○					
21 ルリビタキ	○		○			○		○
22 ジョウビタキ			○			○		
23 トラツグミ	○	○	○		○	○	○	○
24 クロツグミ	○		○					
25 アカハラ			○			○	○	
26 シロハラ	○	○	○		○	○	○	○
27 マミチャジナイ			○					
28 ツグミ			○		○			
29 ウグイス	○		○				○	○
30 センダイムシクイ			○					
31 キビタキ			○					
32 エナガ			○					
33 ヤマガラ			○			○	○	○
34 シジュウカラ	○		○		○	○	○	
35 メジロ			○					
36 アオジ	○					○		
37 カワラヒワ	○		○			○		
38 スズメ			○					
39 カケス	○		○	○				
40 ハシブトガラス			○	○	○	○		

表1 自動カメラによる哺乳類・鳥類の記録



キツネ

タヌキ

### 5. まとめと今後の展開

ニュータウンの森・中央公園を手入れすることにより、ササユリの生育数が増加したほか、動物の生息環境も維持されています。今後も引き続き、中央公園での里山管理を行い、生物多様性を確保していきたいと考えています。また、2016年8月から、中央公園に連なるニュータウン外縁の森でも、トレイルカメラによる定点観測を開始しました。今後はさらに公園外の観測点を増やし、哺乳類を中心とした生き物の行動範囲を探っていくことを計画しています。